

政策対話（環境部）の概要

1 テーマ

2050 ゼロカーボン実現に向けて

2 実施概要

(1) 日 時

令和3年8月20日（金）午前10時から午後4時

(2) 場 所（実施手法）

長野市芸術館（YouTubeによるオンライン配信）

(3) 参加者（視聴者）

登壇者 18名（地域でゼロカーボンにつながる取組を行う方、環境問題に関心のある学生など）

うち県側：阿部知事、猿田環境部長、環境政策課職員

視聴者 当日 797名、累計 1,697名（令和4年2月28日時点）

3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方	令和4年度予算への反映
ゼロカーボン実現に必要なことは	<ul style="list-style-type: none">自治体、各地域や県民誰もがゼロカーボンについて考え、行動することが必要問題への特效薬はなく、少しずつでも、取組を前に進めていくことが求められる“答え”が見つかっていない分野のため、地域社会の中でコミュニケーションをとりながら進めていくことが大事ゼロカーボンに向けた行動が当たり前・合理的であるという社会を設計していくうえで、自治体・地域社会の役割は大きい取組を進める上では、他業種との連携、横のつながりが大事	<p>・脱炭素社会を実現していくためには、県民お一人おひとりに問題意識をもって行動していただくことが重要です。そのため、信州環境カレッジを中心に多様な学びのコンテンツを提供するとともに、気候危機に立ち向かう県民の輪を広げるため、「サステナブル NAGANO 共創プラットフォーム（仮称）」を立ち上げてまいります。</p>	<p>『信州環境カレッジ事業』【23,537千円】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校講座や WEB 講座、地域・企業との協働講座など、環境に対する多様な学びの機会を提供します。 <p>『サステナブル NAGANO 共創プラットフォーム（仮称）事業』【18,134千円】</p> <ul style="list-style-type: none">・多様な主体が参画し、ゼロカーボン社会の実現を目指す「サステナブル NAGANO 共創プラットフォーム（仮称）」において、気候危機に立ち向かう県民の輪の拡大や気候危機突破プロジェクトなどに取り組みます。

※ 当日の行事（信州環境フェア 2021）全体の概要は別添のグラフィックレコーディング（会議や講演の内容を文字とイラストを使って記録したもの）をご覧ください。